

「生活習慣が大事」

短命県 返上へ 中郷小で授業始まる 黒石

医学博士と小学校教師あることを紹介するな論の共同授業で短命県ど、身近に感じるよう返上を目指す試みが27日、黒石市の中郷小学校(山内孝行校長)で始まった。6年生が対象で、初回は児童らの父母世代から増える生活習慣病が主な死因で共同授業は「子ども

のうちに正しい生活習慣と健康知識を身に付けることが短命県返上



佐藤教諭(左)と共同で授業を行う中路教授

につながる」との考えに基づき、弘前大学大学院医学研究科長中路重之教授、同小の佐藤満司教諭らが一緒になつて、12月1日までの間に計5回行う。初回は短命の事実と原因に焦点を当てて実施。児童らが内容を理解したことに中路教授は「きちんと話を聞いてくれたのがうれしかった。(同小の)先生方も一生懸命にやっ

てくれた」と意欲を示した。次回(30日)は血圧測定を行うなど一歩踏み込んだ内容とする計画で、同小は授業の効果を高めるため、保護者に参観を呼び掛けている。(鳴海学)